

樋爪氏の祖は、藤原清衡の四男清綱であるといわれています。清綱は祖父に当たる藤原経清と同じ宮城の亘理郡を拠点とし、「亘理権十郎」を名乗っていましたが、長男・俊衡が志波郡を治めることになり、姓を樋爪氏に変えたといわれています。

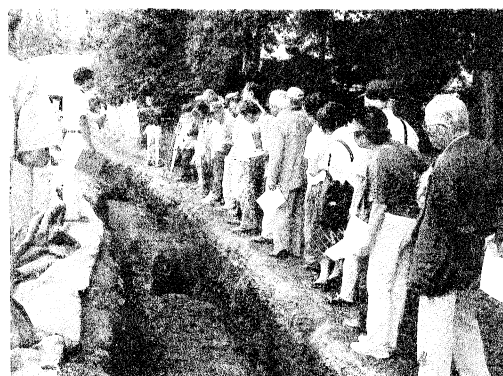
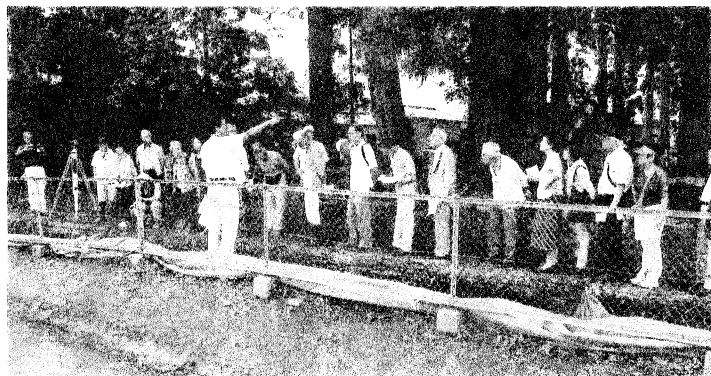
—紫波町まち旅図鑑 紫波町・紫波町観光交流協会発行から—

《《《 1～2月行事予定のお知らせ 》》》

1月15日 (水曜日)	第48回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：堀切奎三 テーマ：北の居館「樋爪の館」造営と金山開発 発表者：平井和夫 テーマ：「防御性集落について(二)」
1月20日 (月曜日)	紫波町平泉関連史跡 連携協議会 平成25年度新春講演会 《共催事業》	午後1時30分から午後3時まで 古館公民館 演題「未定」 講師 東北大学名誉教授 入間田宣夫氏 参加料 500円
2月19日 (水曜日)	第49回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者・テーマ：未定 ※ 発表を予定している方は事務局まで

比爪館遺跡の第31次・第32次発掘調査現地見学会が行われました。

第31次の調査場所は赤石小学校校庭南側の道路で、9月11日に見学会を行いました。第32次は赤石幼稚園南側道路向かいの大溝跡に続く場所で、10月15日と18日に見学し、更に大溝の調査進行状況に合わせ23日にも見学会を行いました。紫波町教育委員会のご厚意に心から感謝しています。なお、この調査の成果は、平成26年3月1日(土)に開催する予定の、平成25年度紫波町発掘調査報告会で発表されるようですので期待したいと思います。



*** 研修会・講座 ****

1月28日(火曜日) 13:30~15:30 紫波郷土史同好会第6回研修会(赤石公民館和室)

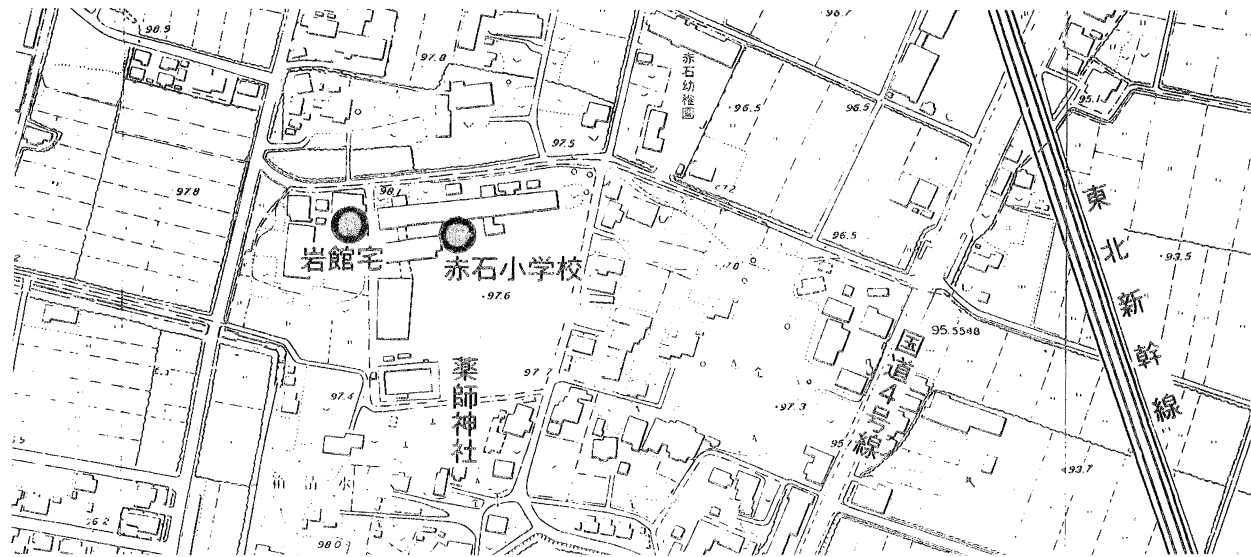
※ 赤石地区ひづめ館懇話会の会員でもある 石幡 信 さんが会員発表を行います。

2月23日(日曜日) 13:30~15:00 県博日曜講座(岩手県立博物館教室)

※ 第11回講演会講師の 丸山 浩治さんの平安時代の火山噴火と遺跡についての講話です。

【第7次発掘調査(一)】

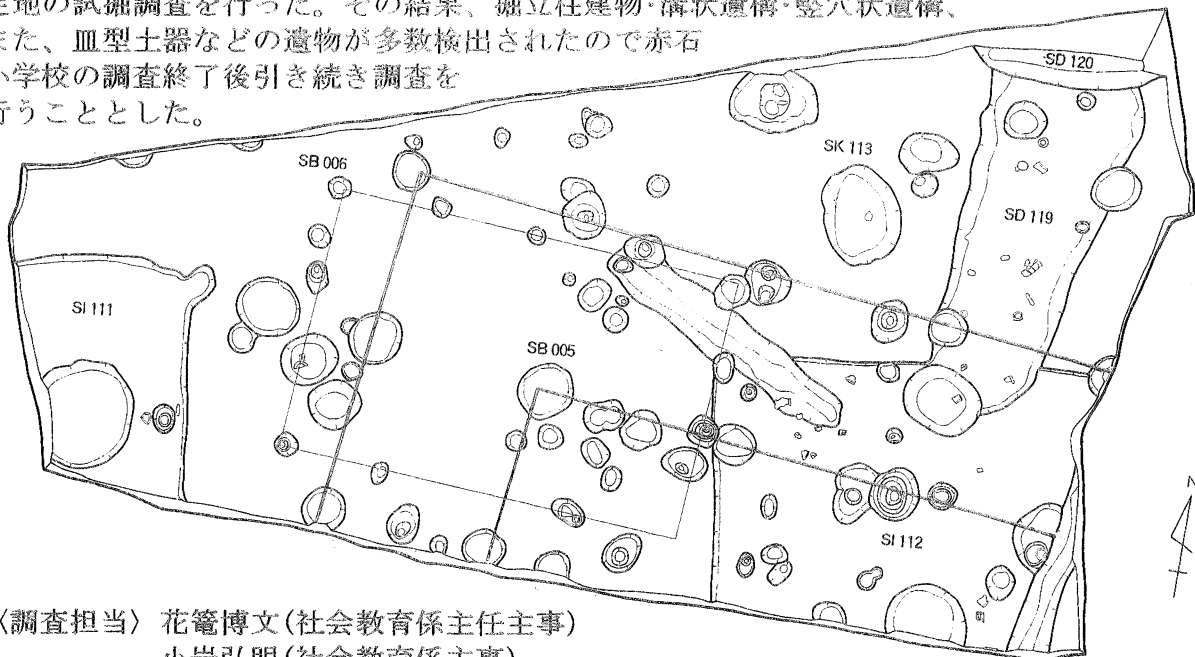
比爪館遺跡昭和60年度第7次発掘調査報告書<紫波町教育委員会(昭和61年4月1日発行)から



〈第7次調査経過〉

この調査は、赤石小学校々舎増築工事に伴い実施されることとなった。調査予定地は昭和59年10月末に試掘調査を行い遺構の有無を確認した。その結果をもとに県教委文化課の指導を受け昭和60年に調査をする体制をつくった。

一方、岩館宅の調査については、当初予定になかった。しかし、赤石小学校の調査を開始した直後、岩館氏より住宅を新築したいので調査してほしい旨申し出があった。岩館宅は赤石小学校々舎西側に隣接し、現存する比爪館遺跡の北西に位置している。したがって、遺構・遺物が検出される可能性があるとして、岩館氏と協議を進めながら赤石小学校の調査と並行して予定地の試掘調査を行った。その結果、掘立柱建物・溝状遺構・竪穴状遺構、また、皿型土器などの遺物が多数検出されたので赤石小学校の調査終了後引き続き調査を行うこととした。



赤石小学校調査区全体図

〈調査担当〉 花箆博文(社会教育係主任主事)
小岩弘明(社会教育係主事)

〈検出遺構〉

赤石小学校調査区： 竪穴式住居1、掘立柱建物1、土壇5、井戸跡2、溝・溝状遺構4
岩館宅調査区： 竪穴状遺構2、掘立柱建物2、土壇1、溝状遺構2

【掘立柱建物】何れも東西棟の掘立柱建物を3棟確認した。SB005掘立柱建物は全容を把握するまでは至らなかったが、底を有する建物と考えられる。身舎の柱間寸法が2.0m、底が2.0m~2.2mと、他の2棟と比較して倍以上の差がみられる。他に建物として把握することのできなかった柱穴が多くあった。(以下、次号に続く。)